

平成24年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校

学校番号 27

I 自己評価

1 学校教育目標	誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上に、すぐれた知識と技術を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。 このことを実現するために本年度は以下の重点目標を設定した。 (1) 生徒の興味・関心を喚起する、わかる授業づくりの推進 (2) 生徒に軸足を置いた指導の推進 (3) 生徒一人ひとりが帰属意識のもてる学校づくり (4) 地域に開かれた信頼される学校づくり	
2 評価する領域・分野	◇ 進路指導	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・景気低迷等様々な要因により、高卒者の採用状況がますます悪化すると予想され、採用試験対策の強化が必要とされる。 ・進路情報の提供や進路啓発、生徒の希望に沿った進路指導については、生徒・保護者から概ね評価いただいている。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇ 学年部と連携した採用試験対策の強化とインターンシップなど全職員による進路啓発事業の効果的かつ円滑な推進	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・主任会での意見交換、連絡調整 ・学年会との密な連携	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 基礎学力補習や面接指導の強化 (2) 地元製造業の企業との連携によるインターンシップ等進路啓発事業の開催	(1) 就職・進学希望者の内定・合格達成度 (2) 生徒のアンケートや感想文、企業の方の評価見届け職員からの報告からその効果を確認	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・一般常識課題考査実施に加え、就職模試の結果を受けての追指導 ・面接マナー指導の早期実施、難関企業受験者向け就職ガイダンスの実施 ・大垣地域合同企業展の開催 ・1年生の班別企業リサーチ、2年生のインターンシップ事業の実施 ・外部講師による講話・ガイダンスの実施 	①学力補充や面接指導等を通して、生徒の進路希望を成就させることができたか。 ②生徒の地元企業の活動に対する理解や職業観が深まったか。 ③生徒の社会人として望まれるマナーやコミュニケーション能力が高まったか。	A (B) C D A (B) C D A (B) C D
11 成果・課題	●求人倍率は昨年並の中、採用の一次試験不合格者数は1.5倍となった。不合格理由の6割で学力の不足が指摘されており、基礎学力や日頃の学習の成果が問われており、学習姿勢の涵養が課題である。また、一部に、意欲や元気のなさ、会話能力の不足を指摘されている。 ○12月までには、ほぼ就職・進学とも希望を叶えさせることができた。 ●進学希望者の大半が推薦で決まり、その後の学習が十分でない。大学入学後、授業についけるような基礎学力のスキルアップが必要である。	
		総合評価 A (B) C D

12 来年度に向けての改善方策案

- 早い段階から3年間を見通した計画を生徒に立てさせ、進路目標の実現に向けて努力させる。
- 外部模試や講師などを活用し、基礎学力やコミュニケーション能力を高めるための方策を立て、難関の企業や大学に向けてチャレンジできる能力を育てる。
- 大学への推薦対象者が合格後も積極的に入学に向けた学力補充できるしくみを整備する。

II 学校関係者評価

実施年月日：平成25年1月31日

【意見・要望・評価等】

- ・就職試験の面接でしゃべれない生徒もいる、企業はコミュニケーション力を高く見る。
- ・コミュニケーション能力など、企業の生の声を聞くと分かることがあるので、そのような機会を有効にしてもらえると良い。
- ・就職試験で1次不採用が1.5倍となって厳しくなったと感じている。